幸せな日々を送るために小細工を

ピリピ4：8

2022/12/4

若いころの私の友人に、いつも他人の短所や欠点や間違いを見つけ出しては、それを口汚くののしる奴がいました。その友人のために自分がいかに迷惑をこうむって来たかを、語るのが癖になっていたようです。高校生の時は同じような性格の女生徒が、私が部長をやっていた演劇部にいて、ずいぶん引っ掻き回されたものです。

このような人たちは非常に上手に、素早く、他人の欠点や弱点を見つけ出しては、それを話のタネにします。でも私たちにわかっていたことは、彼らはそんなことをしても決して幸せではなかったということです。やればやるほど、聞く人たちに嫌がられ、回りまわって自分が惨めに感じるようになります。そんなひどい人間に取り囲まれていては、自分は不幸だと思ってしまうからです。

パウロ先生は、私たちの周りにある良いこと、美しいこと、称賛に値することに気づくように勧めているようです。クリスチャンという枠を超えて、あらゆる人たちの中に、そういうものを見つけるように教えられているように思います。その教えの基盤は、すべての人間は素晴らしい神に似せて造られている、素晴らしい存在だということです。

私たちクリスチャンの間では、クリスチャンではない人々を、軽々しく罪人呼ばわりすることが、広く行きわたっています。恥ずかしいことです。幸い私たちの教会には、そのような習慣がありません。クリスチャンだって罪人にすぎません。ただ神の憐れみによって、罪が赦されているだけで、自慢にはなりません。

すべての人は罪びとである、悔い改めなければならないという、西欧のキリスト教の教えによって、クリスチャンたちは出会った人がクリスチャンでなければ、すぐに罪を指摘して、悔い改めて罪の赦しを受けなければならないと、話したくなります。それがその人を永遠の命に誘う伝道だと教えられているからです。それで多くのクリスチャンは、普通の人たちよりもっと激しく、他人のあらを捜し、欠点、弱点、短所、失敗、間違いを探り出すことになります。それで、そのような悪い人間に囲まれて生きているこの世が、嫌になってしまいます。とても不幸なことです。

どうして、美しい神様に似せて造られた人間の、美しいところ、素敵なところに気づかないのでしょう。他人の長所、優れた点、称賛に値することに、素早く気づき、それを積極的に認め、そういう人と一緒に生きていることを、もっと喜ぶことができたら、私たちの人生は、いまよりずっと明るく、喜びに満ち、感動の多い、素敵なものになるはずです。

他人の欠点をいち早く見つける技より、他人の優れたところを早くたくさん見つけ出す、技術を磨きましょう。そして、見つけ出した他人の優れたところを喜んで、会話の中にも、その人のことが出てきたら、「彼って」、あるいは、「彼女って、素敵ですね。こんな良いところがあるんですよ」、「あんないいところがあるんですよ」と、褒めることにしましょう。他人の中にいいところを見つけ出すと、そのいいところを持っている人と仲良くすることがうれしくなります。

また、あなたが誰か他の人を褒めていると、回りまわって、その人にあなたの話が届くものです。あなたに褒められた人は、たとえあなたを嫌っていたとしても、悪い気はしません。そんなことが数回続くと、あなた

のことが好きになります。そして大抵、あなたの悪口を言うのをやめて、隠れていたあなたの長所、美しいところを見つけ出して、宣伝してくれることになります。

あなたには、苦手な人がいますか？　どうしても好きになれない人がいますか？　さあ、小細工を始めてみましょう。その人の中にある美しい点、優れているところを見つけて、褒めてあげましょう。直接本人に言うのも悪くありませんが、みんなで人のうわさ話や、悪口を言ってお茶を飲むようなとき、「そうね、でも私は彼のこんなところは素敵だと思うわ」と言っておくのです。

良いところが見つけられないなんて言うのは、あなたの目が良くないからですよ。人間は美しい神様に似せて、美しく作られているのですから、必ず見つけられるはずです。